

政策調整会議の概要

開催日 平成 27 年 10 月 16 日 (木)

◎項 目

- 1 平成 28 年度予算編成方針について【総務部】
- 2 平成 28 年度知事部局組織・定数の改正方針について【総務部】
- 3 平成 26 年度高知県環境マネジメントシステム等の取組結果について
【林業振興・環境部】
- 4 その他

◎内 容

1 平成 28 年度予算編成方針について【総務部】

総務部から、資料に基づき平成 28 年度予算編成方針について概要説明が行われた。

<主な説明の概要>

(総務部)

当初予算の編成方針については、既存事業を積極的に見直し事業のバージョンアップを図るために、引き続き見積限度額の例外として課題解決先進枠を設定し、課題解決先進県を目指す事業に予算を重点的に配分したいと考えている。課題解決先進枠は、各部局が事業の見直しなどにより裁量的経常経費の見積限度額から削減した額の 1.5 倍までの要求を可能としている。一方で、裁量的経常経費は昨年度と同様に 5%のマイナスシーリングを設定しているが、一律の削減が目的ではなく、事業の積極的なスクラップアンドビルドを促し新陳代謝を図ることにより、事業の質的な強化を図るものであるため、単なる一律の経費削減ではなく、事業化のメリハリに十分注意し、実効性のある事業の構築に努めてほしい。

(副知事)

時間外勤務の関係等でも、部長・副部長の目から見て思い切った事業の見直しをぜひ積極的に。既存の概念にとらわれずに事業効果や思い切った発想で見直しをしてほしい。

2 平成 28 年度知事部局組織・定数の改正方針について【総務部】

総務部から、資料に基づき平成 28 年度知事部局組織・定数の改正方針について概要説明があった。

<主な説明の概要>

(総務部)

来年度は、スクラップアンドビルドを徹底して緊急性・重要性の高い分野に重点配置する。緊急性・重要性の高い事業は多く出てくると思うが、まずは副部長を中心に部局でよく組織・事業を見極め、本当にこの体制が必要なのかということを再度考えてほしい。

今年は、11 月中旬に各部局から組織定数改正の計画の概要説明をしてもらうことにしている。これは各部局で再度組織を見て積極的に見直していただきたいという趣旨である。基本的には課レベルで、主管課長から行政管理課長へ説明してもらう。12 月上旬に

は副部長で協議するので、その前段ということ。

(副知事)

12月上旬の副部長での協議の時には、副部長ならではの視点をぜひお願いしたい。

3 平成26年度高知県環境マネジメントシステム等の取組結果について【林業振興・環境部】

林業振興・環境部から、資料に基づき平成26年度高知県環境マネジメントシステム及び地球温暖化対策実行計画の取組結果について概要説明があった。

<主な説明の概要>

(林業振興・環境部)

26年度の高知県庁の環境マネジメントシステム等の取組結果について、庁議等で報告となっていることから、この場で報告する。

①平成26年度の高知県庁環境マネジメントシステム取組結果

- ・平成23～27年度の5カ年計画で、21年度を基準年次として27年度末までに10%削減という目標で取組み、対象施設は、本庁、出先機関、学校、病院、指定管理施設を合わせた164施設、対象となる燃料は、主に電気、ガス、ガソリンである。
- ・取組み状況は、基準年次21年度に対して26年度は9.5%の減で、27年度目標が10%なので達成見込みである。
- ・デマンド監視装置の設置による省エネ効果は、164施設のうち109施設でデマンド監視装置を設置し、効果は高い。
- ・26年度夏の節電対策を7月～9月の3カ月の間、病院や高齢者の施設等を除いた85施設を対象に実施し、最大電力は15%、電力量も17%削減で、管理によって成果を得ている。今年度の7月～9月は、対象施設が110施設に増え、最大電力が15%、使用量も15%と、目標の7%から大きく達成している。
- ・年間で使用量6.6%、2,200万円程の経費削減効果があったので、引き続きできる限りの節電に協力をお願いしたい。
- ・コピー用紙の購入枚数がなかなか削減できてない。最近写真や図を多く使うためカラーコピーがかなり増えており、単にコストの面だけでなく労力や時間を含め、各部署で考える余地があるのではないか。
- ・今年度のマネジメントシステムの改定作業の中間報告だが、施設管理者に対するアンケートは、154施設中135施設から回答があった。職員に対するアンケートも1,311人回答があり、いろいろご意見をいただいているので今後活かしていきたい。アンケート結果の概要としては、関心の有り無しにばらつきがあるので、いかに全体で意識向上していくかということが課題と考えている。この結果を踏まえ、今後取組み案を作り、またこの場で報告したい。

②地球温暖化対策の実行計画の取組み

- ・原発が停止し火力へシフトしているため逆に数値は上がっており、目標10%削減に対し26年度34%増だが、これは致し方ない部分である。
- ・ガスの種別別で見ると、二酸化炭素排出量は26年度は25年度から比べると少し減で、電力の小売り自由化の関係で排出係数が四電よりも相対的に低いところがあり、その部分で減となっている。

4 その他

- 文化生活部から、10月28日に開催される男女共同参画職員研修及び学短トップセミナーの紹介があった。
- 産業振興センターから、第4回ものづくり総合技術展の紹介があった。
- 教育委員会から、高知龍馬マラソンの申込み状況と募集期間延長の報告があった。